

### 第3回 学校統合準備委員会(栗林小学校・鵜住居小学校) 会議録

- 1 日 時 令和8年6月4日(木)、18:00～18:40 ※全体会
- 2 開催場所 鵜住居小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 藤原央委員、八木澤詩乃委員、三浦尚之委員、中里充良委員、  
佐々木岬委員、藤原英貴委員、八幡和郎委員、伊藤千鶴子委員、  
古川幹敏委員、市川淳子委員、高橋昭英委員、和多田晋委員、  
中島文紀委員、伊藤知基委員、高橋美友紀委員、桜庭大輔委員、  
加藤睦美委員、菅原稔弘委員、高橋晃一委員(19人)
- 4 欠席委員 洞口政伸委員
- 5 事務局 高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、菊池拓朗総務課長、  
佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩淵勝也学校教育課長、  
遠野英希学校教育課主幹、中村達也総務課長補佐、  
川崎克総務課長補佐、谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐(9人)

### 6 経 過

#### (1) 開会

川崎教育部長が開会を宣言

#### (2) 教育長あいさつ

##### 【教育長】

本日は夕方のお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、新たな委員をお迎えしての、今年度最初の準備委員会であり、通算3回目の準備委員会になります。

本日の会議では、新しい視点からのご発言も大変重要であると考えております。これまでの話し合いに加え、「この点はどうか」、「この点はさらに協議が必要ではないか」といったお気づきの点がございましたら、この後の部会等において積極的にご意見をお出しいただき、議論を深めていただければと思います。

さて、昨年度の第2回準備委員会の後の教育委員会の動きについて、お話ししたいと思います。

昨年度の2月、栗林小学校にお伺いして、子どもたちへ統合についてお話しさせていただきました。学校を統合する理由についての説明し、子どもたちの思いを聞かせてい

いただきました。子どもたちは寂しさを感じながらも、統合を前向きに考え、受け止めている様子が伺えました。改めて、学校統合が両校の子どもたちにとってより良いものとなるよう取り組む必要があると感じました。

その後、教育委員会において栗林小学校の閉校について協議をしました。そして教育委員会として、栗林小学校を正式に令和9年3月31日をもって閉校するという議決をし、6月市議会定例会でその旨をお諮りする予定となっております。また、併せて栗林小学校の閉校に関わる費用についても、議会へ提案をさせていただくことになっていきます。

今年度がスタートして2か月が過ぎました。私自身、今年度末の栗林小学校の閉校、そして統合が目の前に迫っていることを改めて実感し、緊張も感じています。

また、事務局に対し、進捗状況や課題について確認を重ねながら進めています。

本日は、これまでの会議の振り返りと、部会での協議が中心になると思いますので、様々なご意見を忌憚なくお聞かせいただきたいと思います。

委員長、そして委員の皆さま、この後どうぞよろしくお願いいたします。

### (3) 報告

- ・ 各専門部会における取組内容等について

#### 【事務局】

続きまして、次第4となりますが、これ以降の進行は委員長にお願いしたいと存じます。

#### 【委員長】

早速ですが、次第4、「報告」に進みます。まずは、委員の交代もありましたので、改めてこれまでに開催された2回の学校統合準備委員会について振り返りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局から、推進計画策定から第2回準備委員会までの経過を説明)

#### 【委員長】

次に、各部会からの報告をお願いしたいと思います。

2月の第2回準備委員会の後に開催した部会の内容や、その後の話し合いの結果、決定事項について共有していただきたいと思います。部会以外で担当する事項について協議して決定したことなどでも構いません。発表していただくのは、部会のメンバーであればどなたでも構いませんのでよろしくお願いいたします。

まずは、学校経営部会、いかがでしょうか。

(学校経営部会)

【委員】

学校経営部会ということで、この間話し合ったことを報告します。

まず、6月22日(月)に鶉住居小学校と栗林小学校の職員が一堂に会して、顔合わせをしながら今後どのように進めていくか、どのようなことを決めなければならないか等、また、どのような行事を行っていけばよいかという点について、職員で打ち合わせを行うことにしました。

子どもたちの交流については、釜石東中学校の先生に栗林小学校、鶉住居小学校の6年生のもとに来ていただき、英語の授業を行っています。まず6年生と一緒に外国語の授業を実施してみようということで、6月中に行います。

それから、5年生は7月に宿泊研修があります。その中のいくつかの活動で交流することも考えています。例えばキャンプファイヤーを行うのですが、鶉住居小学校で踊りを一緒に練習したり、せつかく鶉住居小学校に来るので、自己紹介をしながら校舎を探検してみようと考えています。鶉住居小学校のどこに何があるのかを探検するような形で、鶉住居小学校の5年生にエスコートしてもらいながら、子どもたちも「ここはこういう勉強をする部屋」「ここが図書館」という形で見て回って交流をしたいと考えています。中学年は、水生生物調査を合同で実施する計画を進めています。

子どもたちのほうも少しずつですがそのように進めて、1年生、2年生、3年生はこれからになりますが、6月22日に集まった際に、このような授業を行ったほうがいいのではないかという意見を先生方からもいただきながら進めていきたいと考えています。

教育委員会には、スクールバスの運行について、協力していただけるようお願いいたします。

ジャージについては、例えば4月の段階では、鶉住居小学校と栗林小学校の両方のジャージがあってもいいと考えています。ただ、買い替えをする場合には、鶉住居小学校のほうに移行していくという流れで進めていきたいと考えています。中に着る紺色のシャツや上靴など、いろいろありますが、その点についても確認しながら進めていきたいと考えています。ただし、費用が掛かることでもありますので、PTAの方々にもその点についてお話ししながら進めていきたいと考えています。現時点では、そのような流れで進めています。

【委員長】

学校経営部会の報告に、何かご質問等ありますか。

【委員】

(なし)

(教育課程部会)

【委員長】

続きまして、教育課程部会、お願いします。

【委員】

教育課程部会ということで、主に児童同士の学習に関わることについて、お話をさせていただきます。

先ほども説明がありましたが、児童同士の交流については、6年生の合同乗り入れ授業、5年生の宿泊体験学習における合同での学習、それから3・4年生の水生物調査が、現時点で決まっています。

今後、両校の年間計画をもとに、ほかの学校とも一緒にできそうな活動や交流の機会について検討し、その都度情報共有をしていきたいと考えています。子どもたちからも、「こういうふうと一緒にやりたい」という声も上がっていますので、児童の声も大切にしながら進めていきたいと考えています。

【委員長】

ただいまの報告について質問等ありませんか。

【委員】

(なし)

【委員長】

次に、通学・PTA部会からお願いします。

(通学・PTA部会)

【委員】

通学・PTA部会として、学童育成クラブと児童館について話し合いましたので報告します。

学童育成クラブと児童館について、市こども家庭課の職員から説明を受け、意見交換を行いました。学童育成クラブについては、栗林学童育成クラブは学校統合と合わせて廃止となります。学校統合時には栗林学童の指導員を鶴住居学童へ配置してほしいことや、学童内のトラブルに対して適切に対応できるようにしてほしいことなど、委員から学童育成クラブの運営に配慮いただきたい旨を伝えました。

栗林児童館については、こども家庭課から、令和9年度も運営する方向であると

の説明がありました。平日は毎日開館予定で、利用時間等が決まり次第お知らせするとのことでした。現在も児童館はありますので、利用できるようにしてほしいということを伝え、児童指導員の配置など人的体制は社会福祉協議会と協議していくこととしています。

**【委員長】**

ただいまの報告について質問等ありませんか。

**【委員】**

栗林学童の廃止について、令和9年度は運営と言っていましたか。

**【委員】**

令和9年度は運営する方向と説明がありました。

**【事務局】**

「栗林学童育成クラブ」は、令和9年度の統合に合わせて廃止します。9年度に統合になった時点から、「栗林学童育成クラブ」に通っているお子さんは「鶉住居学童育成クラブ」のほうに通っていただくこととなります。ただ、栗林学童は児童館機能もあるため、自由来館型ということになりますが、「栗林児童館」は、9年度も運営するという説明がありました。

**【委員】**

わかりました。ありがとうございます。

**【委員長】**

本日の委員会後にも部会の時間を設けますので、適宜、必要な検討を進めていただきたいと思います。内容は、次回の準備委員会で共有していただきます。それでは、次第5「その他」に進みます。皆さまから、何かございますか。

**【委員】**

先ほど教育長から、予算について今後の議会で協議していく方向であるとのことでしたが、学校経営に関する説明の中でも、ジャージ等費用がかかる点について具体的な話が出ておりました。こうした費用に対する補助的な支援について、教育委員会としてはどのようにお考えでしょうか。

**【教育長】**

説明が不足しておりました。6月市議会に提出するのは、栗林小学校の閉校に関わる費用の部分になります。具体的には、閉校記念誌の作成や閉校記念式典等に活用していただくための予算です。閉校事業に関わる予算として、6月市議会に提出する予定です。

**【事務局】**

ジャージの補助についてお話がありましたが、先ほど校長先生からもお話があったとおり、ジャージ等については、買い替えのタイミングで新しいものを購入していただくという考えでおります。特段市のほうから補助金をお出しすることは、現時点では考えておりません。

**【委員】**

わかりました。ありがとうございます。

**【委員長】**

先ほど買い替えるまでそのままがいいというお話がありましたが、買う前に卒業時期を迎えるということもあるので、できるだけ早い時期に揃えるのが望ましいとは思いますが、お金もかかることだし、ここで具体的に決めることはないと思いますが、何か意見等ありましたらお願いします。

**【委員】**

栗林小の保護者から、鶉住居小のジャージのおさがりはないですかというお話がありました。皆さんが欲しいものだと思い、独自に集めてしまっているのですが、必要でしょうか。

**【委員】**

釜石では中田薬局さんがジャージを集めたりしていますが、鶉住居のほうではあまり聞いたことがありません。あってもいいのかなと思います。

**【委員】**

小学校が窓口となって配布してもらおうということで、学校に持って行ってもよろしいですか。

**【委員】**

鶉住居小学校のジャージですか。学校で預かるのは構わないです。

【委員】

学校に置いておいて、好きなものを持って行ってくださいという形になると思いますが。

【委員長】

良い取組だと思います。

【委員】

使えるものと使えないものがあるかもしれませんが、良いものを使ってもらえれば。

【委員】

関連した話ですが、物価高でジャージの値上げが今年度中に行われるようです。また、現在は白色の半袖ジャージを使用していますが、最近全国の小学校でだんだん白いジャージではなく、いろいろな配慮から紺色の半袖ジャージを使っている学校が増えていて、中学校も紺色を使用しています。統合を機に紺色へ変更することも一つの選択肢としてあってもいいのかなということで、検討を進めています。

【委員長】

食料品をはじめ、様々なものが値上げとなっている中で、学校生活にも影響が出てくる状況だと思います。少しでも安く購入できるよう、学校やPTAで取り組んでいただければと思います。

【委員長】

統合準備委員会とは話が別になりますが、関係性は強くありますが、栗林小学校の閉校について、今話せる段階で皆さんに共有できるようなことがありましたらお願いします。

【委員】

閉校事業実行委員会を5月に第1回目として開催しました。実行委員長や組織等を決定し、今後どのような形で進めていくかを確認しました。

大きく分けて2つの取組があります。1つ目は記念誌作成、2つ目は、市で行う閉校式終了後に実施する仮称「閉校を語る会」です。この大きな2つの事業を進めていくことで確認をしています。この後、それぞれの委員さんに入っていて、進めていくことになっています。実行委員長は、本日出席していただいている本校PTA会長ということで、進めております。

【委員長】

歴史がある学校が来年4月に統合ということで、通常の業務以外に閉校に向けた対応もあり大変だと思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、事務局から連絡事項がありましたらお願ひします。

(事務局から次回の日程等について説明)

【委員長】

委員の皆さんのから何かございませぬか。

【委員】

(なし)

【委員長】

それでは、統合準備委員会は閉会して、各部会の開催に移りたいと思ひます。その前に教育長、一言お願ひします。

【教育長】

今、各部からの報告等がありました。

それぞれ話し合ひを進めていただひていることに、改めて感謝申し上げたいと思ひます。だんだんと押し迫ってくるにつれて、細かいことが大事になってくることもありますので、様々な点について協議しながら進めていただひたいと思ひます。冒頭の挨拶で申し上げましたが、それぞれの部会で遠慮せず意見を言ひていただくことが大事なことだと考えています。後で「あの点はどうだったのか」となったら、切羽詰まってきたときに大変になってきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【委員長】

それでは、進行を事務局にお返しします。

7 閉会

教育部長が閉会を宣言